

情報公開文書

2025 年 10 月 2 日 Ver1.0

2018 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに当科で大腸癌に対して手術を受けられた患者さんへ

1. 研究の名称

閉塞性結腸癌に対する根治手術後の予後と集学的治療の必要性の検討
：多機関共同コホート研究

2. 倫理審査と許可

京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会による中央一括倫理審査を受け、当院施設長の許可を受けて実施しています。

3. 研究の目的・意義

この研究は、大腸癌の患者さんにおける腫瘍性閉塞の予後に対する影響を評価し、化学療法など集学的治療の必要性を明らかにします。

4. 研究実施期間

研究期間は研究機関の長の実施許可日から 2027 年 3 月 31 日までを予定しています。

5. 対象となる試料・情報の取得期間

当科で 2018 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに大腸癌に対して治癒的切除を受けられた患者さんが対象となります。

6. 試料・情報の利用目的・利用方法

カルテに保存されているデータを後方視的に収集します。データは、各機関において個人を特定できる情報を削除し、研究代表機関である京都大学に集約されます。患者さんの個人情報を公開することはありません。

7. 利用または提供する試料・情報の項目

利用する情報はカルテに保存されているデータ（年齢、性別、疾患名、手術の術式、手術前後の治療、手術の成績など）です。

8. 利用または提供を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日から

9. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
京都大学医学部附属病院消化管外科 教授 小濱和貴
10. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法
ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。
11. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法
他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、相談窓口までお知らせください。
12. 研究資金・利益相反
この研究は消化管外科運営費交付金を資金源とし、利益相反については「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント」に従い「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。当院においても施設規定に従い審査されています。
13. 研究対象者等からの相談への対応
- 1) 日本バプテスト病院 外科
担当者：大越香江
〒606-8273 京都市左京区北白川山ノ元町 47
TEL：075-781-5191
- 2) 研究課題ごとの相談窓口
京都大学医学部附属病院消化管外科医局
担当者：水野良祐
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54
TEL：075-366-7595

14. 研究機関及び共同研究機関の名称・研究責任者の氏名

1) 研究代表機関 研究責任者

京都大学医学部附属病院消化管外科 教授 小濱和貴

2) 共同研究機関 研究責任者

大阪赤十字病院 消化器外科： 稲本 将

医学研究所北野病院 消化器外科： 前川 久継

国立病院機構 京都医療センター 外科： 水野 礼

京都桂病院 外科： 高橋 亮

神戸市立医療センター中央市民病院 外科・移植外科： 本間 周作

神戸市立西神戸医療センター 外科・消化器外科： 塩田 哲也

滋賀県立総合病院 外科： 佐々木 勉

天理よろづ相談所病院 消化器外科： 松末 亮

国立病院機構 姫路医療センター 消化器外科： 山浦 忠能

兵庫県立尼崎総合医療センター 消化器外科： 吉富 摩美

神戸市立医療センター西市民病院 消化器外科： 村上 哲平

日本バプテスト病院 外科： 大越 香江

医仁会武田総合病院 外科： 出口 靖記

宇治徳洲会病院 消化器外科： 長山 聡

小倉記念病院 外科： 長田 圭司

大津赤十字病院 外科： 濱洲 晋哉

洛和会音羽病院 外科： 花田 圭太

大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 外科： 河田 健二